

平成 24 年 9 月 27 日（木曜日）19:00～20:30

◆症例検討

テーマ 「広範囲乳管内進展を伴う乳がんに対する手術方法の工夫
～乳頭乳輪温存皮下乳腺全摘、一次再建法～」

講師 外科医長 太田 浩司 先生

演者の希望により、スライドの掲載は省略させていただきます。

乳腺外来を担当されている外科・太田先生から最近取り組んでおられる“乳頭乳輪温存皮下乳腺全摘・一次再建法”についての講演でした。まず乳癌に対する外科治療として、初期の乳房切除＋リンパ節郭清の説明と乳房温存手術の紹介がありました。“乳房を全切除せず、腫瘍とその周囲のみを取り除く”という温存手術でも、実際は乳房切除と大差がないといったこともあり得ること、こうしたことからリンパ節郭清を併用する術式から、近年の見張りリンパ節生検によるより整容製性を重視した手術に変遷した歴史が示されました。さらに今回は昨年初めから先生が取り組まれている広背筋を用いて一次再建まで行うより整容性を考慮した方法が紹介されました。